



表現力の向上をめざして

幸手市立さかえ小学校
さかえ小学校では、本年度、子どもたちの確かな学力の向上に繋ぐべく、活用力の向上をめざし、学んだことを活用して表現できる場(コンクールやコンテスト)を多く設けています。1学期は、音読コンクールを中心に、2学期からは、徐々に幅を広げて行いました。

11月に実施した学習発表会では、学級ごとの発表に加え、6つのコンクール(音読・スピーチ・歌・器楽・ダンス・プレゼンテーション)と、5つのコンテスト(詩・写真・イラスト・授業ノート・自由学習)を行いました。家庭でもたくさん練習し、予選や本番の発表に臨んだ子が多かったようです。



審査の方々(学校運営協議会委員、民生児童委員、歌唱指導者)からも好評をいただきました。

私たちの生活は、表現することにあふれています。この取り組みをきっかけとして、子どもたちがさらに調べ、考え、学び続けることで、表現力を高めてほしいと願っています。



郷土資料館「藁で作るお正月飾り」

12月15日(日)郷土資料館で、藁細工職人である坂吉武男さんを講師に迎え、もの作り体験「藁で作るお正月飾り」が行われました。
坂吉さんの藁を絞めていく手さばきに、参加者から感嘆の声があがります。
米どころ幸手に受け継がれる藁の文化体験に、参加者は「なつかしいなあ。子どものころおばあさんが藁で縄づくりをしていたのを思い出したよ。こうやって自分で作るのは価値がある!」と話してくれました。



人権作文発表会

12月8日(日)北公民館で、人権作文発表会が行われました。市内小・中学校代表の児童・生徒は人権に対する真剣な思いを発表をしていました。
長倉小4年生の高橋莉幸さんは手話を交えて作文を発表。「(発表は)緊張しました。これからも手話を通していろんな人と話したいです。」と話してくれました。
お母様の秀美さんは「一か月間、発表の練習を頑張っていました。堂々としていて、とても立派でした。」と感動した様子でした。



ボンジュールベナン事業

11月11日(月)から全10回で開催の「フランス語講座」です。講師の^{みとみひさと}見富尚人氏は自身の経験を踏まえ、参加者の気持ちに寄り添いながら講座を進めていきます。
1~30までの覚えた数字を使い、参加者同士で会話レッスンを行います。「ケラージュ アベブ? (あなたは何歳ですか?)」、「ジュ ヴァンサンカン! (私は25歳です!）」など、時おり笑いが教室を包みます。宿題を出され参加者は驚いていましたが、フランス語講座を楽しんでいる様子でした。(11月25日撮影)
11月24日(日)から全3回で開催の「ベナン料理講座」です。講師のトッフア ビドッセシ・ディアソ夫妻から、ベナンの食文化を学びます。
この日はアタッシを作りましたが、ジャー(トマトソース)を作る時の油と塩の量に参加者は驚いていました。最後にエビパウダーで5分ほど煮込み、出来上がって食べてみると「思っていたより食べやすい! 美味しい!」とベナン料理を堪能していました。(11月24日撮影)



上高野小学校「小川仁士選手(車いすラグビー)講演会&体験会」

11月18日(月)上高野小学校で小川仁士選手による講演会&体験会が行われました。これは、心と身体について研究していた上高野小のスポーツ・道徳・オリンピック・パラリンピックに関連する授業に、指定管理者である日本環境マネジメント株式会社の企画がマッチングし、実現に至りました。
講演会では、18歳の時モトクロスのレース中に転倒したことで障がいを負い、リハビリの一環で行ったウィルチェアラグビーが出会いのきっかけとなったお話をわかりやすく、また体験会では車いすでのタックルやミニゲームを行いました。
小川選手とのタックルを体験した5年生の武者くんは「すごく怖かったです。ミニゲームは車いすの操作が慣れてくると、とっても楽しかったです。」と話してくれました。



若草俳句会

「秋灯・小鳥」
秋の灯や 独り暮しに馴れし母 富澤美・幸手市下宇和田
秋の灯に 読書三昧懐かしむ 新聞幸雄・幸手市西
秋の灯や 久方振りの長電話 木下かつ多・五霞町元栗橋
みそ汁に サイの目豆腐秋灯 知久和子・五霞町川妻
朝まだき 小鳥にぎはふ竹林 齊藤若葉・幸手市東
風雨去り 荒れたる庭に小鳥来る 久保田美佐子・幸手市中
ほやほやの 嬰兒抱く窓小鳥来る 小林筑山・幸手市東

療原短歌会

いたどりの西に なびきて葉裏見す 台風過ぎし 入りつ日に佇つ 尾上喜子・栄六
届きたね 年賀ハガキの子の写真 成長伝わる 遠きにもありても 桑島正江・東四
踊らんか 喜び哀しみ夫婦の情 自然の移ろい 舞台いっぱい 中村孝子・南三

六本木の

夜の雑沓に混りいて 歩幅ひろげる 心のはずむ 大熊昭子・東五

かつかつと

乾いた足音過ぎてゆく 夕暮の街 影が濃くなる 堀山徳子・中四